



印出 慎也 議員



有害鳥獣および特定外来生物対策について

問 有害鳥獣等の危険性は高まっており、防止対策が必要であるため国の交付金を活用した補助制度を検討していただきたい。

答 鳥獣被害防止対策協議会の設立と、地域の皆さまの協力が不可欠である。引き続き、関係機関等と設立に向けた協議を進めていくとともに、国の交付金を受けるための手法についても研究をしていく。

上下水道事業について

問 物価高騰対策として国の臨時交付金を活用して、さらに半年間水道料金の基本料金の免除を検討していただきたい。

答 状況等を総合的に勘案し、住民の負担軽減、水道事業の健全かつ安定的な運営継続の両面から、今後の対応を検討する。



職員人材育成について

問 研修に関する受講報告書の簡素化が必要であると考えているが、

いかがか。

答 多くの職員が受講しやすい職場環境を整えていく。

DXの推進について

問 古河市IT戦略プランは5年計画で本年度が最終年であることから、実績や効果を伺う。

答 重点施策の1つ、ITによる行政運営の効率化については、業務自動化を推進し、75の業務シナリオの自動化を実現、人的ミスの削減を図った。生成AIの職員の活用状況は、令和7年度の総利用文字数が令和6年度より約11倍に急増した。文書生成等職員の日常業務に定着し、着実な業務効率化へつながっている。



小林 登美子 議員



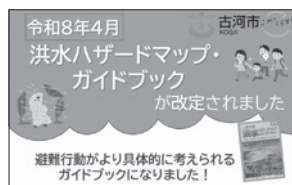
古河市の水害対応策について

問 ①洪水ハザードマップ・ガイドブックの改訂内容、②避難行動要支援者や在住外国人を含め、どのような訓練を実施していくのか、伺う。

答 ①県が新たに公表した市内中小河川の浸水想定区域の情報を反映した。また、より具体的な避難行動を促すため、解説等を追加した。②6月28日の水害対応総合訓練^(※)で、バスによる

^(※)台風の影響が予想されたため中止となった

避難行動要支援者の避難訓練を行う。外国人について、秋以降に地域防災勉強会に参加し、防災知識を周りに伝えることで、外国人全体に浸透させることを目標とした防災研修を実施する。



消防防災課「改定内容紹介動画」より

道路交通法改正について

問 自転車の新ルールについて、市の今後の取り組みや課題を伺う。高齢者や在住外国人対象の交通安全教室の開催を提案する。

答 制度の理解度を高めるための交通安全セミナーを秋に実施

予定である。生活の中で交通规则を意識し、安全な行動を定着させることが課題である。高齢者には行政自治会と連携し、利用者の特性に応じた教室を開催する。外国籍の方には理解促進のための機会を設けていく。

創業・事業承継支援について

問 創業・事業承継に向けた取り組み①「古河サークル」の目的や②「茨城県よろず支援拠点古河サテライト」の役割を伺う。

答 ①課題を抱える方々に気軽に相談していただき、支援機関とのマッチングで、市の産業をにぎやかにすることである。②無料の経営相談所であり、月2回の個別相談会を実施している。